新聞で学ぼう

岩手日報社 ワークシート

明るい年願って

各県地内

初日の出に希望広がる

沿岸部、復興を託す

①オダヤカに明けた2017年。県内沿岸部各地で1日朝、多くの人が初日の出に手を合わせ、決意新たに一年をスタートさせた。

宮古市では、観光船第16陸中丸（坂本繁行船長）に浄土ケ浜から乗り込んだ県内外の約300人が閉伊崎沖で陽光を待った。午前7時ごろ、太陽が雲の合間から姿を現し、洋上が黄金色に照らされると「きれい」「すごい」と記念撮影に興じた。同日が誕生日の一関市桜木町の鈴木祐子さん（62）は「幸せな誕生日を迎えられた。震災復興は一歩ずつ確実に進んでおり、お日さまが（復興を）後押ししているように感じる」と希望を託した。

宮古湾に輝く初日の出。船上で約300人が新年の希望を託した＝1日午前7時15分

三陸鉄道（中村一郎社長）は南・北リアス線でそれぞれ「初日の出号」を運行。北リアス線は乗客45人が久慈市の久慈駅をまだ辺りが暗い午前6時11分に出発し、野田村の野田玉川駅ホームから太平洋を②ナガメタ。野田湾の水平線上にたたずむ雲の奥から日が③ノボルと歓声が上がり、母知美さん（42）らと訪れた同市小久慈町の小屋畑綾乃さん（長内中2年）は「吹奏楽の県大会で東北大会の切符をつかみ取れるように努力する」と誓った。

陸前高田市広田町黒崎の展望台にも多くの家族連れらが足を運んだ。釜石市平田の会社員細川美次さん（68）、友子さん（64）夫妻は「震災復興と行方不明者の発見、家内安全を願った」と手を合わせ、陸前高田市広田町の高田高野球部主将村上諒平さん（2年）は「夢である甲子園出場を達成したい」と力強かった。

県内は2日、釜石で最高気温が9・1度（平年比3・0度高）、盛岡で6・3度（同3・7度高）など3月並みの暖かさとなった。盛岡地方気象台によると3日は明け方までは雪や雨の所が多いが、日中は曇りや晴れとなりそうだ。

（2017年1月3日付・岩手日報34面）

1、文章中の①～③のカタカナを漢字で書きなさい。（送り仮名も書くこと）

①（　　）②（　　）③（　　）

2、記事の写真に題名をつけてみましょう。

題　名

3、2017年のあなたの主な予定を記入してみましょう。

1月…　7月…

2月…　8月…

3月…　9月…

4月…　10月…

5月…　11月…

6月…　12月…

4、2017年の決意・抱負を書きましょう。

決意・抱負

年　組　名前